

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 10 日

事務事業名		大和運動場管理運営事業				事業区分			担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続		事務事業No.		
総合計画の施策名		O304 生涯スポーツ活動の振興				単独/補助		030402000984		
政策名		03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				単独		090501		
施策名		04 生涯スポーツ活動の振興				主要事業		所属課		
基本事業名		02 スポーツ施設の充実と有効利用				対象外		スポーツ振興課		
						市長マニフェスト		グループ		
						対象外		スポーツ振興G		
						未来PJ事業				
						対象外				
						合併建設計画事業				
						対象外				
財務会計上の位置付け					事業期間					
一般会計					単年度繰返し (平成22年度～)					
予算科目					スポーツ公園管理事業(大)					
会計					← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入					
01 10 06 02 07 00										
法令根拠										

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>桜川市大和運動場 桜川市羽田2008番地 17,856㎡ 野球場1面</p> <p>市民がスポーツを楽しめるよう大和運動場を管理運営する事業です。平成22年4月より、大和中学校で使用していた運動場が、校舎立替に伴い、現校舎の南側の運動場を使用することとなったため、一般開放し、大和運動場となった。</p> <p>軟式野球場で1面(スポ少野球・ソフトボール2面)整備、その他使用可能。主に、大和地区のスポーツ少年団の利用が多いため、グラウンド内の除草や簡易修繕はスポーツ少年団に依頼している。</p>	<p>除草、簡易修繕についてスポーツ少年団と協議して実施。使用許可申請書の受付、許可書の交付。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
利用者からの申請書の受付・許可書発行施設の維持管理	利用可能日数	日	0.00	297.00	308.00	308.00	308.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)			⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)				
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市民	人口	人	42,632.00	42,000.00	41,616.00	41,232.00	40,848.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)			⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)				
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
スポーツを通じて体力の増進を図る。スポーツを楽しんでもらう。	利用者(申請書に基づく延べ人数)	人	0.00	5,042.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	期間限定 総投入量		
		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)			
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	300	0	79	300	300	0
	事業費計(A)		千円	300	0	79	300	300	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	
述べ業務時間		時間	40.00	42.00	40.00	40.00	40.00		
人件費計(B)		千円	116	122	116	116	118		
トータルコスト(A)+(B)		千円	416	122	195	416	418		

28年度事業費 実績(千円)			29年度事業費 予算(千円)		
			11 需用費		30
			13 委託料		29
			16 原材料費		20
合 計			合 計		
			79		

(4) 当該年度の実施内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <p>・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業</p> <p style="text-align: center;">→</p>			

事務事業名	大和運動場管理運営事業	事務事業No.	30402000984	所属課	スポーツ振興課
-------	-------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
平成22年4月から大和中学校校舎立替により、旧中学校運動場が学校施設から一般スポーツ施設に移管された。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？
スポーツ少年団より、より使用しやすいよう整備を求められている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	市民がスポーツを楽しむことで、「生涯スポーツ活動の推進」「市民がスポーツを通じて健康で明るい豊かな生活ができる」に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	市民が施設を利用できることは、スポーツを楽しむ機会と体力づくりと健康増進にもつながる。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	現在の利用頻度を考えると今後大幅な利用日数の増加は考えにくい。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	現在利用しているスポーツ少年団の活動する場が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名	類似施設はあるが利用の割り込む余地がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	簡易な修繕管理は利用団体が自ら行っており、現状の予算で最低限の管理（法面の除草・補修用砂の購入）を行っている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	一般開放しているので公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	市管理になってから東側法面の管理を行っていなかったため、近隣の住民から管理の不適切を指摘され、1月に桜の木の伐採、雑木の伐採を行った。

(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								

(6) 事務事業優先度評価結果	
成果優先度評価結果	⑦
コスト削減優先度評価結果	⑥

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>